

# 天目山の雲



[天目山の雲 下载链接1](#)

著者:[日] 井上靖

出版者:角川書店

出版时间:1975年2月10日

装帧:文庫

isbn:9784041216309

- 1、桶狭間
- 2、平蜘蛛の釜
- 3、信康自刃
- 4、天正十年元旦

- 5、天目山の雲
- 6、利休の死
- 7、佐治与九郎覚書
- 8、漂流
- 9、塔二と弥三
- 10、明妃曲
- 11、異域の人
- 12、永泰公主の首飾り

作者介绍:

目录:

[天目山の雲 下载链接1](#)

## 标签

日本文学

戦国時代

■井上靖

## 评论

这书读的很慢。都是短篇，所以情绪上接不上，读完一篇需要想一想。不过因为这书想清楚了井上靖和司马辽太郎的区别。

-----  
「形あるものはいつかは壊れなければならぬ。自然の理であった。併し、いつ壊れる

か、これはその物の持っている運命である。」

-----  
[天目山の雲\\_ダウンロード1](#)

书评

-----  
[天目山の雲\\_ダウンロード1](#)